

偽警告でセキュリティソフトを購入させる手口に注意!

～「ウイルスに感染した」という警告音で電話するよう仕向ける手口も～

事例

パソコンを操作していたら突然大きな警告音が鳴り、「ウイルスに感染している。」との警告画面が表示された。画面にあった電話番号に電話したら片言の日本語を話すオペレーターが出て、パソコンがウイルスに感染したとの説明を受け、信頼して作業依頼した。「カード情報がもれている危険性がある。」とも言われ遠隔操作後、カード会社に状況を確認した。カード会社担当者から、「ダマされているかもしれません、調査します」と言われた。今後の対処法を教える。(50代女性)

ネット広告に感わされる



消費者へのアドバイス

- ウイルスを検出したと警告する表示や警告音で不安になり、電話をかけてしまったとの相談が多数ありますが、警告そのものが偽りの可能性があります。すぐに電話したりソフトを購入したりせず、まずは自分のパソコンに導入されているウイルス駆除ソフトでトラブルの発生の有無を確認しましょう。
- ウイルス検出の警告表示（メッセージ）が消えないとの相談も寄せられています。独立行政法人情報処理推進機構（IPA）のホームページに注意喚起や対処法等が掲載されていますので参考にしてください。不安に感じたときは、名寄市消費生活センターへ相談して下さい。
- また、契約先が海外業者の場合、解約したいと思っても英語での解約交渉が必要になることがあります。英語での解約方法や文章の書き方が分からない場合は、国民生活センター越境消費者センター（CCJ）に相談しましょう。

●問い合わせ先

名寄市消費生活センター TEL・FAX/ 01654-2-3575

◆相談時間 9:15～16:00 ◆休日/土・日・祝日